(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3228401号
(U3228401)
(45)発行日　令和2年10月22日(2020.10.22)　(24)登録日　令和2年10月5日(2020.10.5)

(51)Int.Cl.　　F I
A45D 1/04 (2006.01)　　A45D 1/04 C

評価書の請求 未請求　請求項の数 3　ＯＬ　（全 6 頁）

(21)出願番号　実願2019-600119(U2019-600119)
(86)(22)出願日　平成30年10月12日(2018.10.12)
(86)国際出願番号　PCT/CN2018/110032
(87)国際公開番号　WO2020/042289
(87)国際公開日　令和2年3月5日(2020.3.5)
(31)優先権主張番号　201821399541.6
(32)優先日　平成30年8月29日(2018.8.29)
(33)優先権主張国・地域又は機関
中国(CN)

(73)実用新案権者　517289549
東莞市比迪電器有限公司
Ｄｏｎｇｇｕａｎ Ｂｉｄｉｓｃｏ Ｅｌｅｃｔｒｉｃ ＣＯ.，ＬＴＤ
中国広東省東莞市石排鎮廟辺王東連北路６号
Ｎｏ．６，Ｄｏｎｇｌｉａｎ Ｎｏｒｔｈ Ｒｏａｄ，Ｍｉａｏｂｉａｎｗａｎｇ Ｉｎｄｕｓｔｒｉａｌ Ｄｉｓｔｒｉｃｔ，Ｓｈｉｐａｉ Ｔｏｗｎ，Ｄｏｎｇｇｕａｎ，Ｇｕａｎｇｄｏｎｇ，Ｃｈｉｎａ
(74)代理人　100205936
弁理士　崔　海龍
(74)代理人　100132805
弁理士　河合　貴之

最終頁に続く

(54)【考案の名称】多機能のヘア・ストレイテナー・カーラー

(57)【要約】　（修正有）
【課題】パーマの時間を節約し、ボーディングの速度が速い多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーを提供する。
【解決手段】多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーは、上本体１、下本体３および取っ手６を含み、上本体１上には上加熱体２が取り付けられ、下本体３上には下加熱体４が取り付けられ、上加熱体２の一端と下加熱体４の一端は回転軸７により回転可能に連結され、上本体１上にはボタン８が設けられ、ボタン８により上加熱体２と下加熱体４の開閉を制御し、上本体１の上表面には第一風出口１０１が形成され、上本体１内には第一風通路１０２が形成され、下本体３の下表面には第二風出口３０１が形成され、下本体３内には第二風通路３０２が形成され、取っ手６内にはファン５が取り付けられる。ファン５により形成される風は第一風通路１０２を経て第一風出口１０１から送出され、ファン５により形成される風は第二風通路３０２を経て第二風出口３０１から送出される。
【選択図】図１

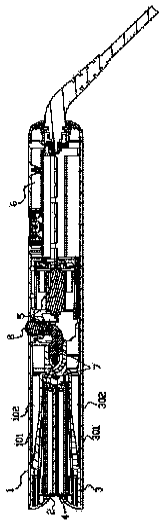


図１

【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーであって、上本体、下本体および取っ手を含み、前記上本体と前記下本体は対向するように取り付けられ、上本体の一端と下本体の一端はいずれも取っ手の端部に連結され、前記上本体と下本体との間には上加熱体と下加熱体がそれぞれ取り付けられ、前記上加熱体は上本体上に取り付けられ、前記下加熱体は下本体上に取り付けられ、前記上加熱体の一端と下加熱体の一端は回転軸により回転可能に連結され、前記上本体上にはボタンが設けられ、前記ボタンにより上加熱体と下加熱体の開閉を制御し、前記上本体の上表面には第一風出口が形成され、前記上本体内には第一風通路が形成され、前記下本体の下表面には第二風出口が形成され、前記下本体内には第二風通路が形成され、前記取っ手内にはファンが取り付けられ、前記ファンにより形成される風は第一風通路を経て第一風出口から送出され、前記ファンにより形成される風は第二風通路を経て第二風出口から送出されることを特徴とする多機能のヘア・ストレイテナー・カーラー。
【請求項２】
前記上加熱体と下加熱体を一定の角度に開けることができ、前記上加熱体と下加熱体との間の距離の範囲は１ｍｍ～８ｍｍであることを特徴とする請求項１に記載の多機能のヘア・ストレイテナー・カーラー。
【請求項３】
前記上加熱体と下加熱体は回転軸によりはさみのように連結され、前記上加熱体と下加熱体の右端には回転部が取り付けられ、前記回転部の左端には下加熱体の右端に当接する突出部が形成され、前記回転部の右端には上加熱体の右端に当接する延伸部が形成され、前記延伸部は右に曲げられるとともに上に延伸しかつボタンの下端に当接することを特徴とする請求項１に記載の多機能のヘア・ストレイテナー・カーラー。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
この考案は、ヘア・カーラー（ｈａｉｒ　ｃｕｒｌｅｒ）の技術分野に属し、特に、多機能のヘア・ストレイテナー・カーラー（ｈａｉｒ　ｓｔｒａｉｇｈｔｅｎｅｒ　ｃｕｒｌｅｒ）に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
市販されている多機能のヘア・カーラーは機能が少ない欠点を有している。例えばストレイテナーしかすることができないか或いはカーラーしかすることができない。市販されているヘア・カーラーを用いるとき、アルミ製円筒または鉄製円筒を一定の温度まで加熱し、ヘアを一定の温度まで加熱されたアルミ製円筒または鉄製円筒上に巻き付けた後、一定の時間保持することによりカーラーをすることができる。したがって従来のヘア・カーラーはボーディングの速度が遅い欠点を有している。
【考案の概要】
【考案が解決しようとする課題】
【０００３】
この考案の目的は、パーマの時間を節約することができ、かつボーディングの速度が速い多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーを提供することにある。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
前記目的を奏するため、この考案において次の技術事項を提供する。
多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーであって、上本体、下本体および取っ手を含み、前記上本体と前記下本体は対向するように取り付けられ、上本体の一端と下本体の一端はいずれも取っ手の端部に連結され、前記上本体と下本体との間には上加熱体と下加熱体がそれぞれ取り付けられ、前記上加熱体は上本体上に取り付けられ、前記下加熱体は下

本体上に取り付けられ、前記上加熱体の一端と下加熱体の一端は回転軸により回転可能に連結され、前記上本体上にはボタンが設けられ、前記ボタンにより上加熱体と下加熱体の開閉を制御し、前記上本体の上表面には第一風出口が形成され、前記上本体内には第一風通路が形成され、前記下本体の下表面には第二風出口が形成され、前記下本体内には第二風通路が形成され、前記取っ手内にはファンが取り付けられ、前記ファンにより形成される風は第一風通路を経て第一風出口から送出され、前記ファンにより形成される風は第二風通路を経て第二風出口から送出される。

【０００５】

好ましくは、前記上加熱体と下加熱体を一定の角度に開けることができ、前記上加熱体と下加熱体との間の距離の範囲は１ｍｍ～８ｍｍである。

【０００６】

好ましくは、前記上加熱体と下加熱体は回転軸によりはさみのように連結され、前記上加熱体と下加熱体の右端には回転部が取り付けられ、前記回転部の左端には下加熱体の右端に当接する突出部が形成され、前記回転部の右端には上加熱体の右端に当接する延伸部が形成され、前記延伸部は右に曲げられるとともに上に延伸しかつボタンの下端に当接する。

【考案の効果】

【０００７】

この考案の技術事項により次の考案の効果を獲得することができる。

この考案の技術事項によりストレイテナーだけでなく、カーラーもすることができる。カーラーをするため、上本体の上表面には第一風出口が形成され、上本体内には第一風通路が形成され、下本体の下表面には第二風出口が形成され、下本体内には第二風通路が形成され、取っ手内にはファンが取り付けられ、ファンにより形成される風は第一風通路を経て第一風出口から送出され、ファンにより形成される風は第二風通路を経て第二風出口から送出される。ヘアを上加熱体と下加熱体により加熱した後、そのヘアを上本体と下本体で構成されかつ風出口が形成される円柱体上に巻き付ける。そのとき、風による放熱によりヘアの温度は下がり、ヘアはボーディングされる。この考案の多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーを発根から離れる方向に移動させることによりカーリー・ヘア（ｃｕｒｌｙ　ｈａｉｒ）を連続的に形成することができる。それによりパーマにかかる時間を有効に節約し、かつ多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーの移動の速度を調節することによりいろいろなパーマの効果を獲得することができる。

【図面の簡単な説明】

【０００８】

【図１】この考案の上加熱体と下加熱体が結合されるときそれを示す断面構造図である。

【図２】この考案の上加熱体と下加熱体が開けられるときそれを示す断面構造図である。

【図３】この考案の局部を示す図である。

【図４】この考案の上加熱体と下加熱体が結合されるときその局部を示す断面構造図である。

【図５】この考案の上加熱体と下加熱体が開けられるときその局部を示す断面構造図である。

【考案を実施するための形態】

【０００９】

以下、図面によりこの考案の技術事項をより詳細に説明する。

図１ないし図３に示すとおり、多機能のヘア・ストレイテナー・カーラー（ｈａｉｒ　ｓｔｒａｉｇｈｔｅｎｅｒ　ｃｕｒｌｅｒ）は、上本体１、下本体３および取っ手６を含み、上本体１と下本体３は対向するように取り付けられ、上本体１の一端と下本体３の一端はいずれも取っ手６の端部に連結される。前記上本体１と下本体３との間には上加熱体２と下加熱体４がそれぞれ取り付けられ、前記上加熱体２は上本体１上に取り付けられ、前記下加熱体４は下本体３上に取り付けられ、前記上加熱体２の一端と下加熱体４の一端は回転軸７により回転可能に連結される。前記上本体１上にはボタン８が設けられ、上加

熱体２と下加熱体４の内部には弾性部品が取り付けられる。上加熱体２と下加熱体４を開けてヘアをその間に送入した後、上加熱体２と下加熱体４の打開を制御するボタンを放すと、上加熱体２と下加熱体４はヘアを自動に挟持することができる。前記ボタン８により上加熱体２と下加熱体４の開閉を制御し、前記上本体１の上表面には第一風出口１０１が形成され、前記上本体１内には第一風通路１０２が形成され、前記下本体３の下表面には第二風出口３０１が形成され、前記下本体３内には第二風通路３０２が形成され、前記取っ手６内にはファン５が取り付けられている。前記ファン５により形成される風は第一風通路１０２を経て第一風出口１０１から送出され、前記ファン５により形成される風は第二風通路３０２を経て第二風出口３０１から送出される。

【００１０】

この考案において、上本体１の上表面には第一風出口１０１が形成され、上本体１内には第一風通路１０２が形成され、下本体３の下表面には第二風出口３０１が形成され、下本体３内には第二風通路３０２が形成され、取っ手６内にはファン５が取り付けられている。ファン５により形成される風は第一風通路１０２を経て第一風出口１０１から送出され、ファン５により形成される風は第二風通路３０２を経て第二風出口３０１から送出される。ヘアを上加熱体２と下加熱体４により加熱した後、そのヘアを上本体１と下本体３で構成される円柱体上に巻き付ける。そのとき、風による放熱によりヘアの温度は下がり、ヘアはボーディングされる。この考案の多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーを発根から離れる方向に移動させることによりカーリー・ヘア（ｃｕｒｌｙ　ｈａｉｒ）を連続的に形成することができる。それによりパーマにかかる時間を有効に節約し、かつ多機能のヘア・ストレイテナー・カーラーの移動の速度を調節することによりいろいろなパーマの効果を獲得することができる。

【００１１】

好ましくは、前記上加熱体２と下加熱体４を一定の角度に開けることができ、前記上加熱体２と下加熱体４との間の距離の範囲は１ｍｍ～８ｍｍである。

【００１２】

図４と図５に示すとおり、前記上加熱体２と下加熱体４は回転軸７によりはさみのように連結される。前記上加熱体２と下加熱体４の右端には回転部９が取り付けられ、前記回転部９の左端には下加熱体４の右端に当接する突出部９１が形成され、前記回転部９の右端には上加熱体２の右端に当接する延伸部９２が形成されている。前記延伸部９２は、右に曲げられるとともに上に延伸し、かつボタン８の下端に当接する。

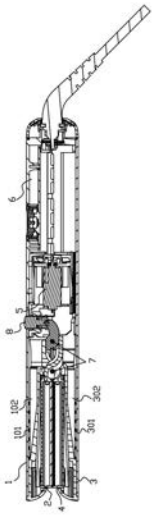
【００１３】

この考案を用いるとき、まずボタン８をクリックする。クリックされるボタン８により回転部９の延伸部９２は下へ押されるので、回転部９はクロックワイズ（ｃｌｏｃｋｗｉｓｅ）の方向に回転する。回転部９がクロックワイズの方向に回転するとき、回転部９の突出部９１が下加熱体４を上へ押すことにより、下加熱体４は回転軸７を軸としてアンチクロックワイズ（ａｎｔｉｃｌｏｃｋｗｉｓｅ）の方向に回転し、下加熱体４は下に開けられることができる。回転部９がクロックワイズの方向に回転するとき、延伸部９２の下端が上加熱体２を押すことにより、上加熱体２は回転軸７を軸としてクロックワイズの方向に回転し、上加熱体２は上に開けられる。

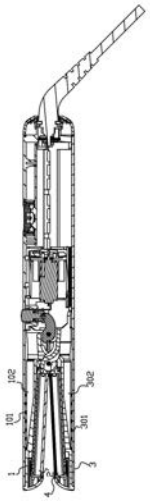
【００１４】

以上、この考案の実施例を詳述してきたが、前記実施例はこの考案の例示にしか過ぎないものであるため、この考案は前記実施例の構成にのみ限定されるものではなく、この考案の要旨を逸脱しない範囲の設計の変更等があってもこの考案に含まれることは勿論である。

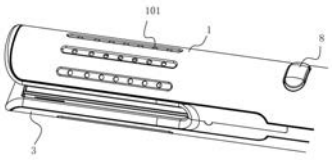
【図１】



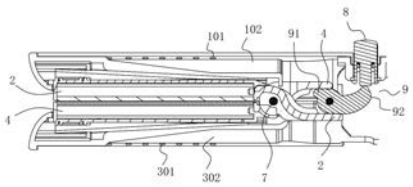
【図２】



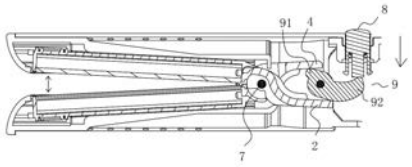
【図３】



【図４】



【図５】



フロントページの続き

(72)考案者　林　瓊全
中国広東省東莞市石排鎮廟辺王東連北路６号
(72)考案者　韋　勝龍
中国広東省東莞市石排鎮廟辺王東連北路６号
(72)考案者　王　盛権
中国広東省東莞市石排鎮廟辺王東連北路６号
(72)考案者　尹　太橋
中国広東省東莞市石排鎮廟辺王東連北路６号
(72)考案者　朱　佩▲かい▼
中国広東省東莞市石排鎮廟辺王東連北路６号